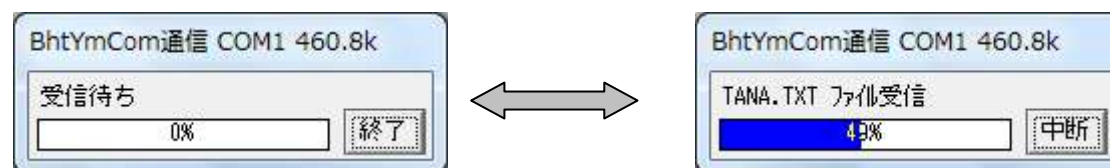


BhtYmCom 通信プログラム 取扱説明書 第12版



2016年 8月 18日
コンピュータ・アシスト株式会社

目次

1 動作環境	1
2 機能	1
3 プログラム起動	1
4 通信設定	2
4-1 追加登録	4
1) テキストファイル	4
2) E x c e l データ転送	9
3) A c c e s s データ転送	12
4-2 登録変更	15
4-3 登録削除	16
5 通信履歴	17
7 通信操作	19
7-1 「アシストパック P r o B H T - 5 0 0」の場合	19
7-2 「アシストパック P r o B H T - 6 0 0」の場合	21
7-3 「アシストパック P r o B H T - 8 0 0」の場合	23
7-4 「アシストパック P r o B H T - 9 0 0」の場合	25
7-5 「アシストパック P r o B H T - 1 3 0 0」の場合	27
7-6 「アシストパック P r o B H T - 1 5 0 0」の場合	29

1 動作環境

OS: Windows Vista (32bit) / 7 (32bit 64bit) / 8 (32bit 64bit)
/ 8.1 (32bit 64bit) / 10 (32bit 64bit)

2 機能

BHT-500/600/800/900/1300/1500シリーズのハンディターミナルのデータを**YModem**プロトコルで転送します。プログラム（PD3、PD4、PN3）、画像データ（JPG）は転送できません。
保存データ形式を次の3種類から選択できます。

- 1) テキストファイル（固定長、カンマ区切り、タブ区切り）
- 2) Excelシート（使用する**Excelブックは閉じて通信する**）
- 3) Accessテーブル

3 プログラム起動

デスクトップ上のショートカットをダブルクリックするか、インストールしたプログラムをエクスプローラで表示して、ダブルクリックして起動します。最初は通信設定するために「SetBhtYmCom.exe」を起動してください。その後通信プログラムの「BhtYmCom.exe」を起動します。

BhtYmCom.exe 通信プログラムの
ショートカットアイコン：



SetBhtYmCom.exe 通信設定の
ショートカットアイコン：



4 通信設定

「SetBhtYmCom.exe」を起動して通信条件と転送するファイルを登録してください。登録していないBHTファイルは転送できません。最大20件まで登録できます。BHTファイルを重複して登録することはできません。

登録した転送ファイル

BHTファイル	通信方向	保存ファイル
NYUKO.TXT	-->>	入庫.txt (固定長)
SHUKO.TXT	-->>	出庫.txt (固定長)
TANA.TXT	-->>	棚卸.txt (固定長)
MASTER.TXT	<<--	商品マスター.TXT (固定長)

選択した登録のフィールド情報を表示します。
(固定長テキストファイル受信の場合は表示しません)

読み込み

: 保存した設定を読み込みます。

名前を付けて保存

: ファイル名を付けて設定を保存します。

追加

: 登録を追加します。

変更

: 登録内容を変更します。

削除

: 選択した登録を削除します。

終了

: 通信条件登録を終了して通信管理画面に戻ります。

通信ポート	通信に使用するポート（COM1 ～ COM9）を設定します。
通信スピード	9600, 19200, 38400, 57600, 115200, 460800から選択します。 CU501を使用する場合は、設定スピードにあわせてディップスイッチを設定してください。 また、460800はCU-521でのみ動作しません。
起動時に表示しない	これをチェックするとプログラム起動時に「通信状態表示」画面を表示しません。
受信データ書き込み	テキストファイルを選択した場合、 <u>上書き／追加</u> の選択が可能です。 ExcelシートとAccessテーブルを選択した場合は、 <u>上書きを選択できません。</u>
保存データ形式	テキストファイル, Excelシート, Accessテーブル, テキストファイル（削除フラグ付）の4種類のデータ形式から選択します。テキストファイル（削除フラグ付）は、「アシストパックType A」の受信データ互換のための保存形式です。 <u>登録データがあると変更できません。</u> 登録データをすべて削除してから変更してください。
保存フォルダ （データソース）	保存データ形式により、テキストファイルの場合は保存するフォルダを設定します。 参照 ボタンをクリックするとフォルダ選択の画面を表示します。 Excelシートの場合は「.xls」ファイルを、Accessテーブルの場合は「.mdb」ファイルを設定してください。 参照 ボタンをクリックするとファイル選択の画面を表示します。 保存データ形式がExcelシート/Accessテーブルの場合は、 <u>登録データがあるとデータソースを変更できません。</u> 登録データをすべて削除してから変更してください。
通信履歴保存	これをチェックすると、通信履歴を保存ファイル名形式で保存フォルダに保存します。
保存ファイル名形式	通信履歴の保存ファイル名形式を選択します。 日ごとに保存ファイル名： ByComExeCOM**_YYYY_MM_DD.log 月ごとに保存ファイル名： ByComExeCOM**_YYYY_MM.log 年ごとに保存ファイル名： ByComExeCOM**_YYYY.log **：通信ポート No
保存フォルダ	通信履歴保存するフォルダを設定します。 参照 ボタンをクリックするとフォルダ選択の画面を表示します。

4-1 追加登録

登録を追加するには **追加** ボタンをクリックします。

1) テキストファイル

保存データ形式を「**テキストファイル**」に設定して転送ファイルを登録します。

テキストファイルを選択

受信データの追加／上書きを選択

The screenshot shows the "BhtYmCom転送ファイル設定 Ver2.34" window. It contains several configuration options:

- 通信ポート**: COM1
- 通信スピード**: 460800
- ☐ 起動時に表示しない
- 受信データ書き込み**: 追加
- 保存データ形式**: テキストファイル
- 保存フォルダ**: C:\Users\佐藤\Desktop (with a 参照 button)

A section titled **通信履歴保存** includes:

- ☒ 通信履歴保存
- 保存ファイル名形式**: 日ごとに別名で保存
- 保存フォルダ**: C:\Users\佐藤\Documents\アシストパック (with a 参照 button)

Below these settings is a table with three columns: BHTファイル, 通信方向, and 保存ファイル.

At the bottom are five buttons: 終了, 読み込み, 名前を付けて保存, 追加 (highlighted), and 変更, followed by a 削除 button.

テキストファイルを保存する
フォルダを設定します。

参照 ボタンをクリックするとフォルダ選択の画面を表示します。

追加 ボタンをクリック

登録画面

① BHTからデータ受信

通信方向に「BHT → テキストファイル」を選択します。

●固定長テキスト

処理日：8桁 棚番：6桁 商品コード：14桁 数量：6桁 の場合の受信データは下記のようになります。

処理日 (8桁)	棚番 (6桁)	商品コード (14桁)	数量 (6桁)
07/01/01	000001	04901780331208	000001

「TANA.TXT」のデータを受信して、固定長データのテキストファイル「棚卸.dat」に保存する設定は、下図のようにします。

↓
前画面へ戻る

設定 ボタンをクリック

通信方向	「BHT → テキストファイル」を選択します。
保存ファイル名	<p>テキストファイルとして保存するファイル名を設定します。</p> <p>ファイル名に日付を入れる場合 *YYMMDD*.*** と設定します。 *は任意の文字列（かな漢字を含む）です。 YYMMDD の位置に日付をいれて受信データのファイル名にします。 例) 2011/01/01 に受信した場合 棚卸 YYMMDD.txt ⇒ 棚卸 110101.txt YYMMDD.TXT ⇒ 110101.TXT</p>
保存形式	「固定長」を選択
BHTファイル	<p>ハンディターミナルから転送するデータのファイル名を設定します。 他の登録で設定したファイル名は使用できません。</p>

●「カンマ区切り」または「タブ区切り」のテキスト

処理日：8桁 棚番：6桁 商品コード：14桁 数量：6桁 の場合の受信データは下記のようになります。

処理日	棚番	商品コード	数量
07/04/01	“000001”	”04901780331208”	1

(タブ区切りの場合は「,」がタブ記号になります)

「TANA.TXT」のデータを受信して、カンマ区切りデータのテキストファイル「棚卸.dat」に保存する設定は、下図のようにします。

追加設定 (保存データ形式テキストファイル)

通信方向 BHT -->> テキストファイル

保存ファイル名 棚卸.txt

保存形式 カンマ区切り

BHTファイル TANA.TXT

フィールド数 4

☐ 受信末尾スペースをデータとする

フィールドデータ型

F1 文字列

F2 文字列

F3 文字列

F4 文字列

設定 取消



設定 ボタンをクリック

前画面へ戻る

通信方向	「BHT -->> テキストファイル」を選択します。
保存ファイル名	テキストファイルとして保存するファイル名を設定します。
保存形式	「カンマ区切り」または「タブ区切り」を選択します
BHTファイル	ハンディターミナルから転送するデータのファイル名を設定します。 他の登録で設定したファイル名は使用できません。
フィールド数	受信するデータのフィールド数を設定します。
受信末尾スペースをデータとする	末尾のスペースを有効データにする場合に設定してください。
フィールドデータ型	「文字列」, 「符号なし数値」, 「符号付き数値」, 「その他」から設定します。 文字列: データを「”」で括ります。 数値: 先頭の「0」を削除します。 その他: 文字列, 数値のようにデータを加工しません。

② BHTヘデータ送信または送受信

通信方向に「BHT → テキストファイル」または「BHT ← テキストファイル」を選択します。

●固定長テキスト

商品コード：13桁 商品名：20桁 の場合は下記のようになります。

商品コード (13桁)	商品名 (20桁)
4901780331208	アシストパック

固定長データのテキストファイル「商品マスター.txt」のデータを「MASTER.TXT」に送信する設定は、下図のようにします。

↓
設定 ボタンをクリック
前画面へ戻る

通信方向	「BHT ← テキストファイル」または「BHT ←→ テキストファイル」を選択します。
保存ファイル名	送受信テキストファイルのファイル名を設定します。
保存形式	「固定長」を選択します。
BHTファイル	ハンディターミナルで使用するファイル名を設定します。 他の登録で設定したファイル名は使用できません。
フィールド数	送受信するデータのフィールド数を設定します。
フィールド桁数	送信するデータのフィールド桁数を設定します。

- 「カンマ区切り」または「タブ区切り」のテキスト
商品コード：13桁 商品名：20桁 の場合は下記のようになります。

商品コード	商品名
 “4901780331208”,	 “アシストパック”

カンマ区切りデータのテキストファイル「商品マスター.txt」のデータを「MASTER.TXT」に送信する設定は、下図のようにします。

設定 ボタンをクリック
 前画面へ戻る

通信方向	「BHT <- テキストファイル」または「BHT <-> テキストファイル」を選択します。
保存ファイル名	送受信テキストファイルのファイル名を設定します。
保存形式	「カンマ区切り」または「タブ区切り」を選択します。
BHTファイル	ハンディターミナルで使用するファイル名を設定します。 他の登録で設定したファイル名は使用できません。
フィールド数	送受信するデータのフィールド数を設定します。
フィールド桁数	送信するデータのフィールド桁数を設定します。
フィールドデータ型	「文字列」、「符号なし数値」、「符号付き数値」、「その他」から設定します。 文字列：データを「”」で括ります。 数値：先頭の「0」を削除します。 その他：文字列、数値のようにデータを加工しません。

2) Excel データ転送

保存データ形式を「**E x c e l シート**」に設定して転送ファイルを登録します。
使用する**E x c e l シート**は、予め作成してから登録作業をしてください。

Excelシートを選択

受信データ書き込みは追加のみです。

The screenshot shows the "BhtYmCom転送ファイル設定 Ver2.34" window. It contains several configuration options:

- 通信ポート**: COM1
- 通信スピード**: 460800
- ☐ 起動時に表示しない
- 受信データ書き込み**: 追加
- 保存データ形式**: Excelシート
- データソース**: C:\Users\佐藤\Documents\アシストパック参照
- ☒ 通信履歴保存
- 保存ファイル名形式**: 日ごとに別名で保存
- 保存フォルダ**: C:\Users\佐藤\Documents\アシストパック参照

Below these settings is a table with two columns: "フィールドNo" and "Excelシート対応フィールド". The table has multiple rows, all of which are currently empty.

At the bottom of the window are five buttons: "終了", "読み込み", "名前を付けて保存", "追加", and "削除". The "追加" button is highlighted with a red rectangle.

使用するExcelファイルを
設定します。

参照 ボタンをクリックする
Excel ファイル選択の画面
を表示します。

追加 ボタンをクリック

登録画面

① BHTからデータ受信

通信方向に「BHT →> Excelシート」を選択します。

データ受信に使用するExcelシートは、予め作成してから登録作業をしてください。

シートの1行目にはフィールド名を入力してください。フィールド名を入力しないと設定できません。

棚卸シート

	A	B	C	D
1	棚卸日	棚番	商品コード	数量
2	07/01/01	000001	04901780331208	000001

「TANA.TXT」のデータを受信して、Excelシート「棚卸」に保存する設定は、下図のようにします。

追加設定 (保存データ形式Excelシート)

通信方向 BHT -->> Excelシート

BHTファイル データソース 在庫管理サンプル.xls

Excelシート

出荷\$

棚卸\$

入荷\$

返品\$

BHTフィールド

F1

F2

F3

F4

シート列

棚卸日

棚番

商品コード

数量

受信データを保存するシートを選択

BHTファイル TANA.TXT

フィールド数 4

☐ 受信末尾スペースをデータとする

設定

取消

登録 ボタンをクリック

前画面へ戻る

通信方向	「BHT →> Excelシート」を選択します。
Excelシート	受信データを保存するExcelシートをマウスポイントでクリックして選択します。
BHTファイル	ハンディターミナルから転送するデータのファイル名を設定します。 他の登録で設定したファイル名は使用できません。
フィールド数	受信データのフィールド数を設定します。
受信末尾スペースをデータとする	末尾のスペースを有効データにする場合に設定してください。
シート列	Excelシートを選択し、フィールド数を選択すると、シート列を選択するコンボボックスを表示しますので、BHTファイルのフィールドをどのシート列に保存するか選択します。

設定例のフィールドの対応

BHTファイルのフィールド	通信方向	棚卸シート列
F 1	→	棚卸日
F 2	→	棚番
F 3	→	商品コード
F 4	→	数量

② BHTヘデータ送信または送受信

通信方向に「BHT <<— Excelシート」または「BHT <<—>> Excelシート」を選択します。

データ送信に使用するExcelシートは、予め作成してから登録作業をしてください。

シートの1行目にはフィールド名を入力してください。フィールド名を入力しないと設定できません。

	A	B	C
1	商品コード	商品名	上代
2	04901780331208	BHT-504Q	198000

Excelシートの送信する列データは、文字列にしてください。すべて数字のデータの場合は、先頭に「'」を付加して明示的に文字列にしてください。数値が入力されていると通信中にエラーが発生します。

追加設定 (保存データ形式Excelシート)

通信方向 BHT <<— Excelシート

データソース マスターデータサンプル.xls

Excelシート

マスターデータ\$

BHTファイル MASTER.TXT

フィールド数 2

設定 取消

送信するデータが保存されているシートを選択

登録 ボタンをクリック

前画面へ戻る

通信方向	「BHT <<— Excelシート」または「BHT <<—>> Excelシート」を選択します。
Excelシート	使用するExcelシートをマウスポイントでクリックして選択します。
BHTファイル	ハンディターミナルで使用するファイル名を設定します。 他の登録で設定したファイル名は使用できません。
フィールド数	送受信するデータのフィールド数を設定します。
フィールド桁数	送信するデータのフィールド桁数を設定します。
シート列	Excelシートを選択し、フィールド数を選択すると、シート列を選択するコンボボックスを表示しますので、BHTファイルのフィールドをどのシート列に保存するか選択します。

設定例の
フィールドの対応

BHTファイル のフィールド	通信 方向	マスターデータ シート列	桁数
F 1	←	商品コード	1 4
F 2	←	商品名	1 6

3) Accessデータ転送

保存データ形式を「**A c c e s s**テーブル」に設定して転送ファイルを登録します。
使用する**A c c e s s**テーブルは、予め作成してから登録作業をしてください。

Accessテーブルを選択

受信データ書き込みは追加のみです。

BhtYmCom転送ファイル設定 Ver2.34

通信ポート COM1 通信スピード 460800 ☐ 起動時に表示しない 受信データ書き込み 追加

保存データ形式 Accessテーブル データソース C:\Users\佐藤\Documents\アシストパック 参照

☒ 通信履歴保存
保存ファイル名形式 日ごとに別名で保存 保存フォルダ C:\Users\佐藤\Documents\アシストパック 参照

BHTファイル	通信方向	Accessテーブル	フィールドNo	Accessテーブル対応フィールド

終了 読み込み 名前を付けて保存 追加 変更 削除

使用するAccessテーブルを設定します。

参照 ボタンをクリックするAccessテーブル選択の画面を表示します。

追加 ボタンをクリック

登録画面

① BHTからデータ受信

通信方向に「BHT → Accessテーブル」を選択します。

データ受信に使用するAccessテーブルは、予め作成してから登録作業をしてください。

追加設定 (保存データ形式Accessテーブル)

通信方向 BHT --> Access: BHTファイル

データソース 在庫管理サンプル.mdb

Accessテーブル

出荷
棚卸
入荷
返品

受信データを保存するテーブルを選択

BHTファイル TANA.TXT

フィールド数 4

☐ 受信末尾スペースをデータとする

設定 取消

登録 ボタンをクリック

前画面へ戻る

通信方向	「BHT → Access テーブル」を選択します。
Access テーブル	受信データを保存する Access テーブルをマウスポイントでクリックして選択します。
BHT ファイル	ハンディターミナルから転送するデータのファイル名を設定します。 他の登録で設定したファイル名は使用できません。
フィールド数	受信データのフィールド数を設定します。
受信末尾スペースをデータとする	末尾のスペースを有効データにする場合に設定してください。
テーブルフィールド	Access テーブルを選択し、フィールド数を選択すると、テーブルフィールドを選択するコンボボックスを表示しますので、BHT ファイルのフィールドをどのテーブルフィールドに保存するか選択します。

設定例の
フィールドの対応

BHT ファイル のフィールド	通信 方向	棚卸テーブル のフィールド
F 1	→	棚卸日
F 2	→	棚番
F 3	→	商品コード
F 4	→	数量

② BHTヘデータ送信または送受信

通信方向に「BHT <<— Accessテーブル」または「BHT <<—>> Accessテーブル」を選択します。
データ送信に使用するAccessテーブルは、予め作成してから登録作業をしてください。

追加設定 (保存データ形式Accessテーブル)

通信方向: BHT <<— Access

Accessテーブル: マスター

BHTファイル: MASTER.TXT

フィールド数: 2

設定 取消

送信するデータが保存されているテーブルを選択

登録 ボタンをクリック
↓
前画面へ戻る

通信方向	「BHT <<— Access テーブル」または「BHT <<—>> Access テーブル」を選択します。
Access テーブル	使用するAccessテーブルをマウスポイントでクリックして選択します。
BHTファイル	ハンディターミナルで使用するファイル名を設定します。 他の登録で設定したファイル名は使用できません。
フィールド数	送受信するデータのフィールド数を設定します。
フィールド桁数	送信するデータのフィールド桁数を設定します。
テーブルフィールド	Accessテーブルを選択し、フィールド数を選択すると、テーブルフィールドを選択するコンボボックスを表示しますので、BHTファイルのフィールドをどのテーブルフィールドに保存するか選択します。

設定例の
フィールドの対応

BHT ファイル のフィールド	通信 方向	マスターデータ テーブルのフィールド	桁数
F 1	←	商品コード	1 4
F 2	←	商品名	1 6

4-2 登録変更

登録内容を変更するには、転送ファイル登録を選択して、**変更** ボタンをクリックします。

BhtYmCom転送ファイル設定 Ver2.34

通信ポート COM1 通信スピード 460800 ☐ 起動時に表示しない 受信データ書き込み 追加

保存データ形式 テキストファイル 保存フォルダ C:\Users\佐藤\Desktop 参照

☒ 通信履歴保存
保存ファイル名形式 日ごとに別名で保存 保存フォルダ C:\Users\佐藤\Documents\アシストパック 参照

BHTファイル	通信方向	保存ファイル	ファイルNo	桁数
NYUKO.TXT	-->>	入庫.txt (固定長)	1	13
SHUKO.TXT	-->>	出庫.txt (固定長)	2	20
TANA.TXT	-->>	棚卸.txt (固定長)	3	6
MASTER.TXT	<<--	商品マスター.TXT (固定長)		

終了 読み込み 名前を付けて保存 追加 **変更** 削除

登録した転送ファイルを、マウスポイントでクリックして選択すると、反転表示します

↓
変更 ボタンをクリック
登録変更画面

- 登録変更画面は、登録画面と同じです。登録の説明を参照してください。

4-3 登録削除

登録を削除するには、転送ファイル登録を選択して、**削除** ボタンをクリックします。

BHTファイル	通信方向	保存ファイル	ファイルNo	桁数
NYUKO.TXT	-->>	入庫.txt (固定長)	1	13
SHUKO.TXT	-->>	出庫.txt (固定長)	2	20
TANA.TXT	-->>	棚卸.txt (固定長)	3	6
MASTER.TXT	<<--	商品マスター.TXT (固定長)		

登録した転送ファイルを、マウスポイントでクリックして選択すると、反転表示します



削除 ボタンをクリック

はい(Y) をクリックすると指定した登録を削除します

5 通信履歴

通信履歴を保存するには、[通信履歴保存] をチェックして、保存ファイル名形式と保存フォルダを設定します。

The screenshot shows the "BhtYmCom転送ファイル設定 Ver2.34" window. It has several configuration sections:

- Communication Port:** COM1
- Baud Rate:** 460800
- Start-up:** ☐ 起動時に表示しない
- Receive Data:** ☒ 受信データ書き込み
- Add Button:** 追加
- Save Data Format:** テキストファイル
- Save Folder:** C:\Users\佐藤\Desktop
- Reference Button:** 参照

A red rectangle highlights the following section:

- ☒ 通信履歴保存
- Save File Name Format:** 日ごとに別名で保存
- Save Folder:** C:\Users\佐藤\Documents\アシストパック
- Reference Button:** 参照

Below this is a table with three columns: "BHTファイル", "通信方向", and "保存ファイル".

BHTファイル	通信方向	保存ファイル
NYUKO.TXT	-->>	入庫.txt (固定長)
SHUKO.TXT	-->>	出庫.txt (固定長)
TANA.TXT	-->>	棚卸.txt (固定長)
MASTER.TXT	<<--	商品マスター.TXT (固定長)

At the bottom are five buttons: "終了", "読み込み", "名前を付けて保存", "追加", and "変更", followed by a "削除" button.

通信履歴保存ファイル名は次のようになります。

日ごとに保存ファイル名: ByComExeCOM**_YYYY_MM_DD.log

月ごとに保存ファイル名: ByComExeCOM**_YYYY_MM.log

年ごとに保存ファイル名： ByComExeCOM**_YYYY.log

** : 通信ポート No

通信履歴ファイルのデータは次のように保存されます。

01/01 00:00:00	TANA. TXT	100 件	受信	中断
01/01 00:01:00	TANA. TXT	100 件	受信	タイムアウト
01/01 00:02:00	TANA. TXT	100 件	受信	正常終了
01/01 00:10:00	MASTER. TXT	10000 件	送信	正常終了

通信日時

ファイル名

データファイルの場合：データ件数

通信方向

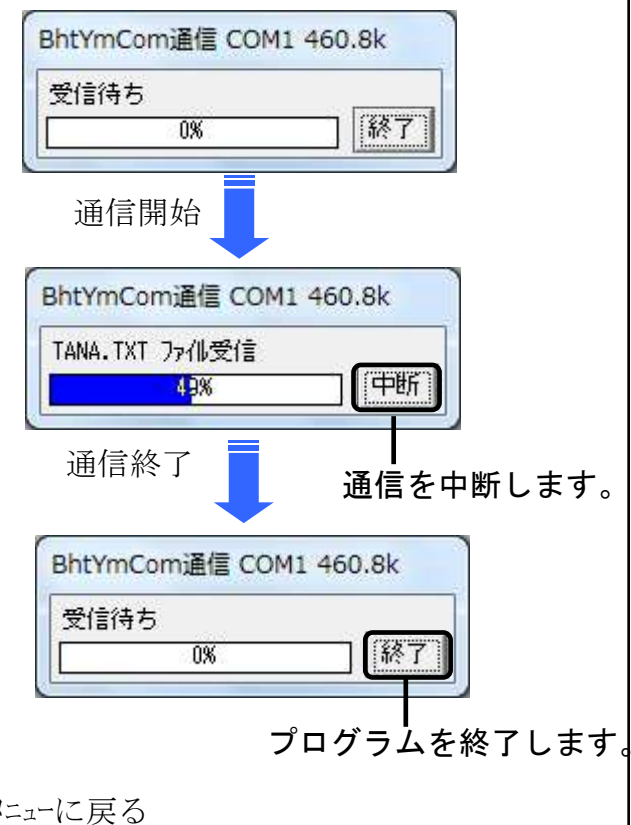
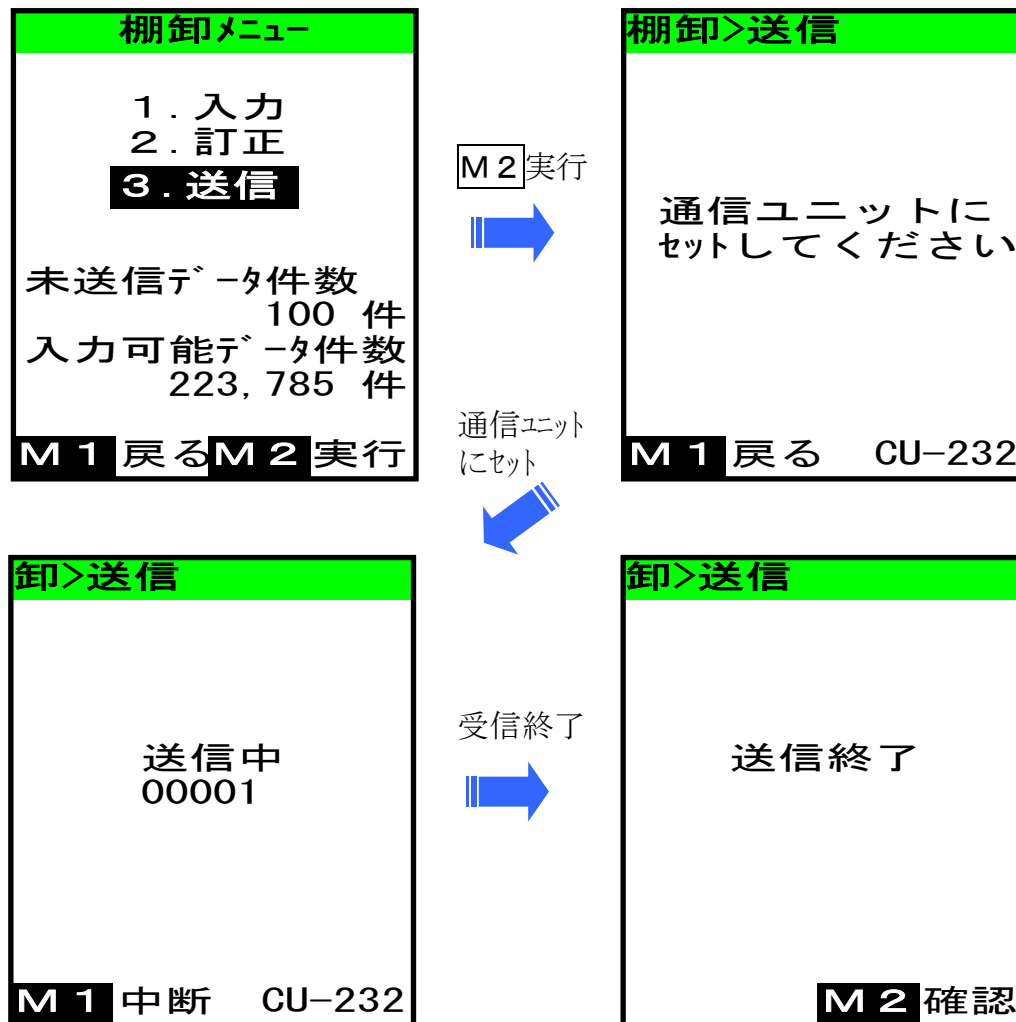
通信結果

7 通信操作

PCにおいて通信プログラム「BhtYmCom.exe」を起動すると、受信待ち状態のウィンドウを表示します。
(「起動時に表示しない」をチェックすると表示しません)

7-1 「アシストパック Pro BHT-500」の場合

1) BHTからPCにデータを送信



M2 確認
サブメニューに戻る

2) PCからBHTにデータを送信

サブメニュー

1. システム情報表示
2. 日時設定
3. HtNo 設定
4. 業務設定更新
5. 業務設定送信
6. バーコードテスト
7. 全データ消去
8. ファイル受信
- 9. リモート受信**
10. ファイル管理

M 1 戻る **M 2** 実行

M 2 実行

リモート受信

受信ファイル
MASTER.DAT

M 1 戻る **M 2** 確定

M 2 確定

リモート受信

通信ポート選択

- 1. CU-RS232**
2. CU-USB
3. コネクタ
4. #####. PD4
5. \$\$\$\$\$\$. PD4

M 1 戻る **M 2** 選択

M 2 選択

実行中のプログラムである
ASTPK500. PD4は
受信しないでください。

業務設定で設定したデータファイルを受
信できますが、予め送信／削除してから
受信して、受信後に再起動してください

設定したアドイン通信プログラム

リモート受信

通信ユニットに
セットしてください

M 1 戻る CU-232

通信ユニット
にセット

リモート受信

受信中
00001

M 1 中断 CU-232

受信終了

リモート受信

受信終了

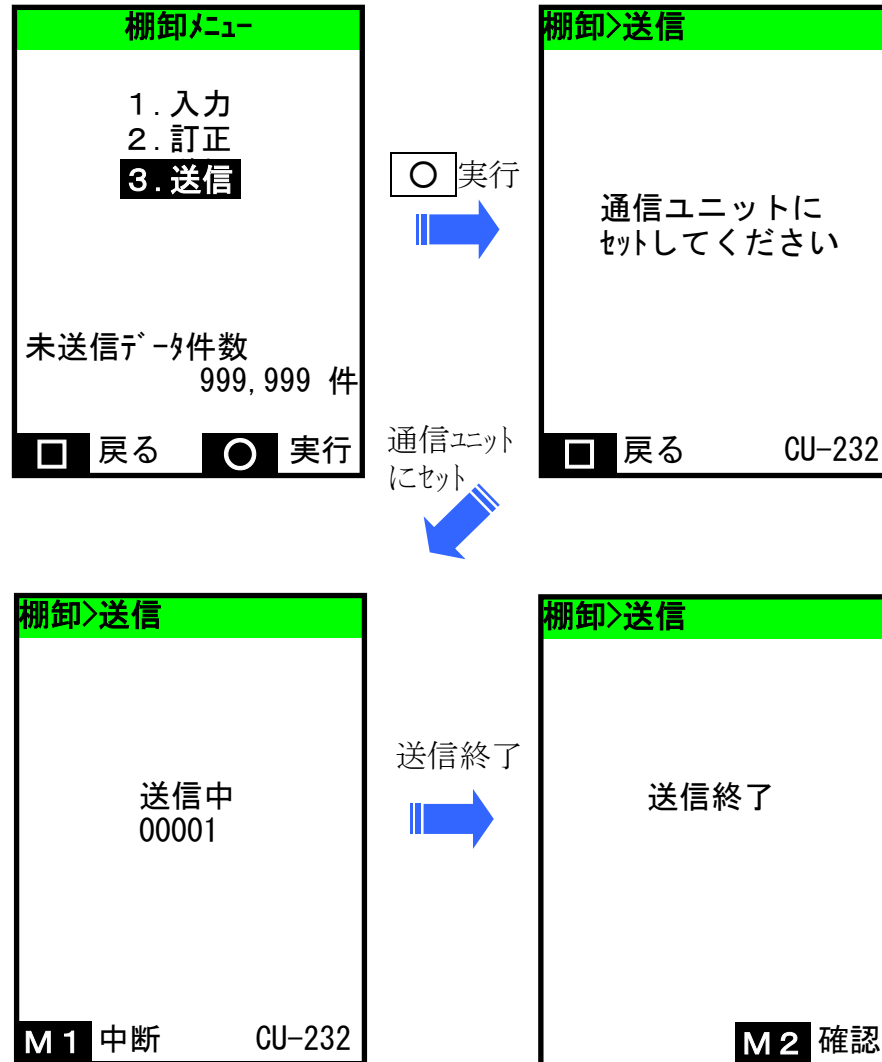
M 2 確認

M 2 確認

サブメニューに戻る

7-2 「アシストパック Pro BHT-600」の場合

1) BHTからPCにデータを送信



BhtYmCom通信 COM1 460.8k

受信待ち

0%

終了

通信開始

BhtYmCom通信 COM1 460.8k

TANA.TXT ファイル受信

43%

中断

通信終了

通信を中断します。

BhtYmCom通信 COM1 460.8k

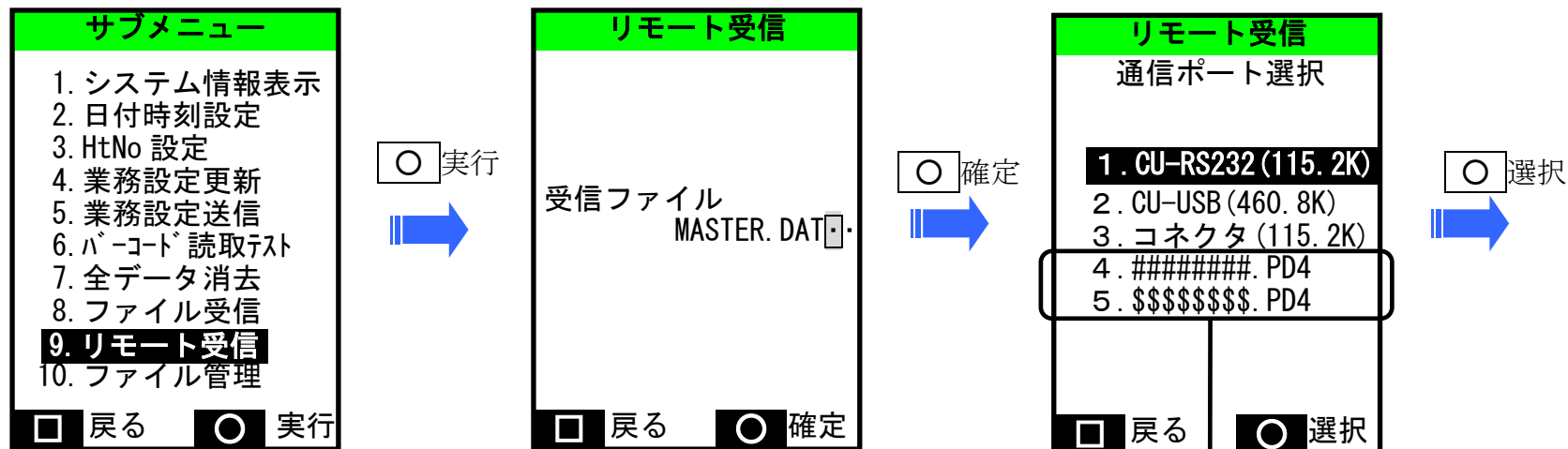
受信待ち

0%

終了

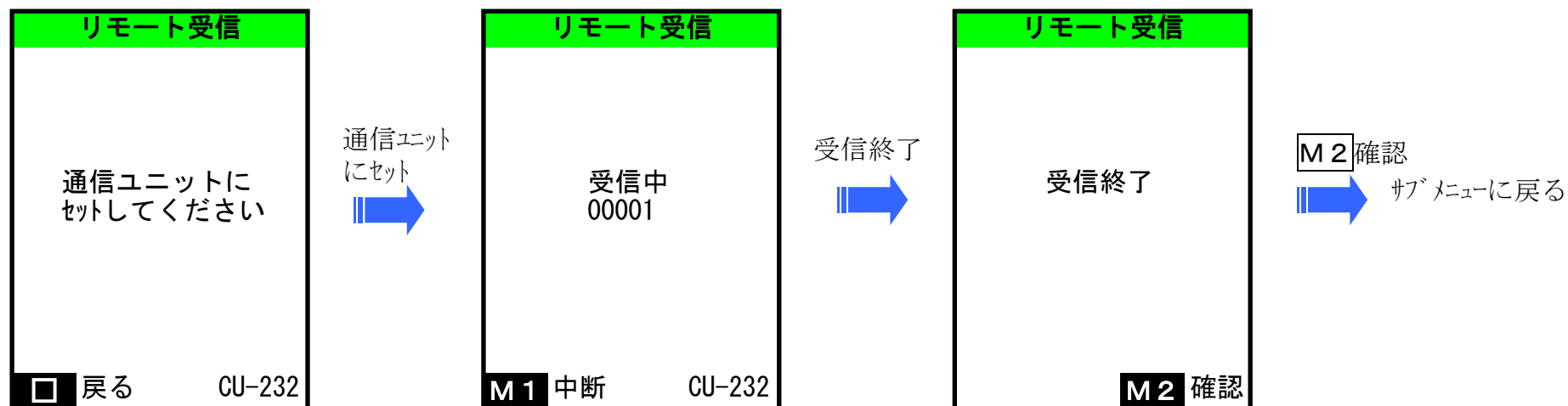
プログラムを終了します。

2) PCからBHTにデータを送信



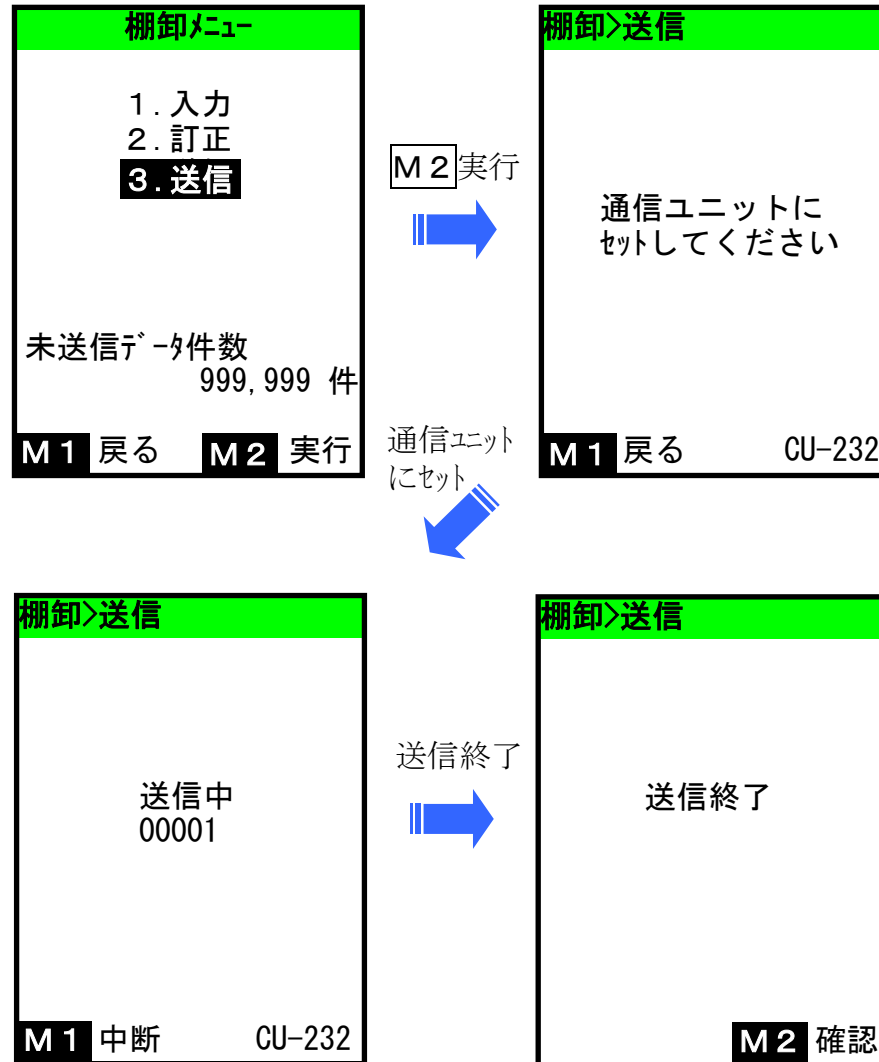
実行中のプログラムである
ASTPK600.PD4は
受信しないでください。

業務設定で設定したデータファイルを受
信できますが、予め送信／削除してから
受信して、受信後に再起動してください



7-3 「アシストパック Pro BHT-800」の場合

1) BHTからPCにデータを送信

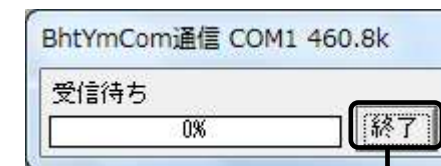


通信開始



通信終了

通信を中断します。



プログラムを終了します。

2) PCからBHTにデータを送信

サブメニュー

1. システム情報表示
2. 日付時刻設定
3. HtNo 設定
4. 業務設定更新
5. 業務設定送信
6. バーコード読取テスト
7. 全データ消去
8. ファイル受信
- 9. リモート受信**
10. ファイル管理

M1 戻る M2 実行

M2 実行

リモート受信

受信ファイル
MASTER.DAT

M1 戻る M2 確定

M2 確定

リモート受信
通信ポート選択

1. CU-RS232 (115.2K)
2. CU-USB (460.8K)
3. コネクタ (115.2K)
4. #####. PD4
5. \$\$\$\$\$\$. PD4

M1 戻る M2 選択

M2 選択

実行中のプログラムである
ASTPK800. PD4は
受信しないでください。

業務設定で設定したデータファイルを受
信できますが、予め送信／削除してから
受信して、受信後に再起動してください

設定したアドイン通信プログラム

リモート受信

通信ユニットに
セットしてください

M1 戻る CU-232

通信ユニット
にセット

リモート受信

受信中
00001

M1 中断 CU-232

受信終了

リモート受信

受信終了

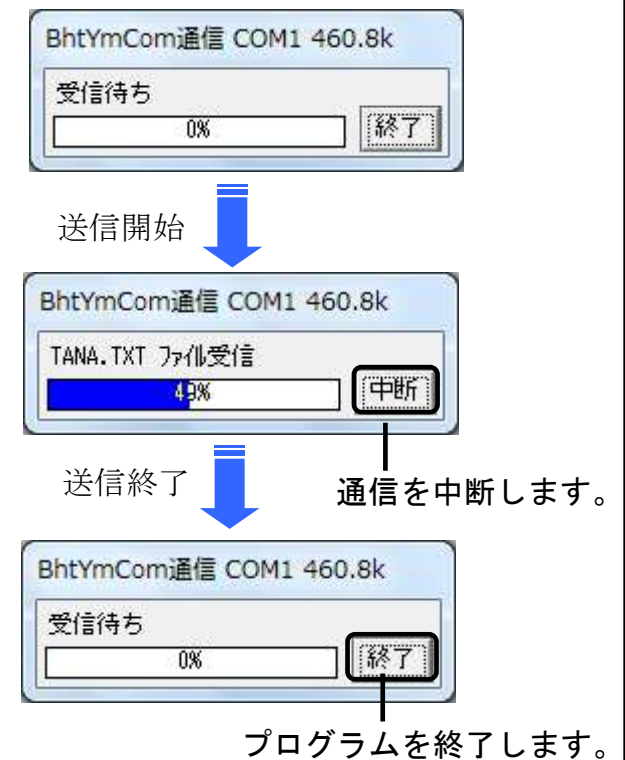
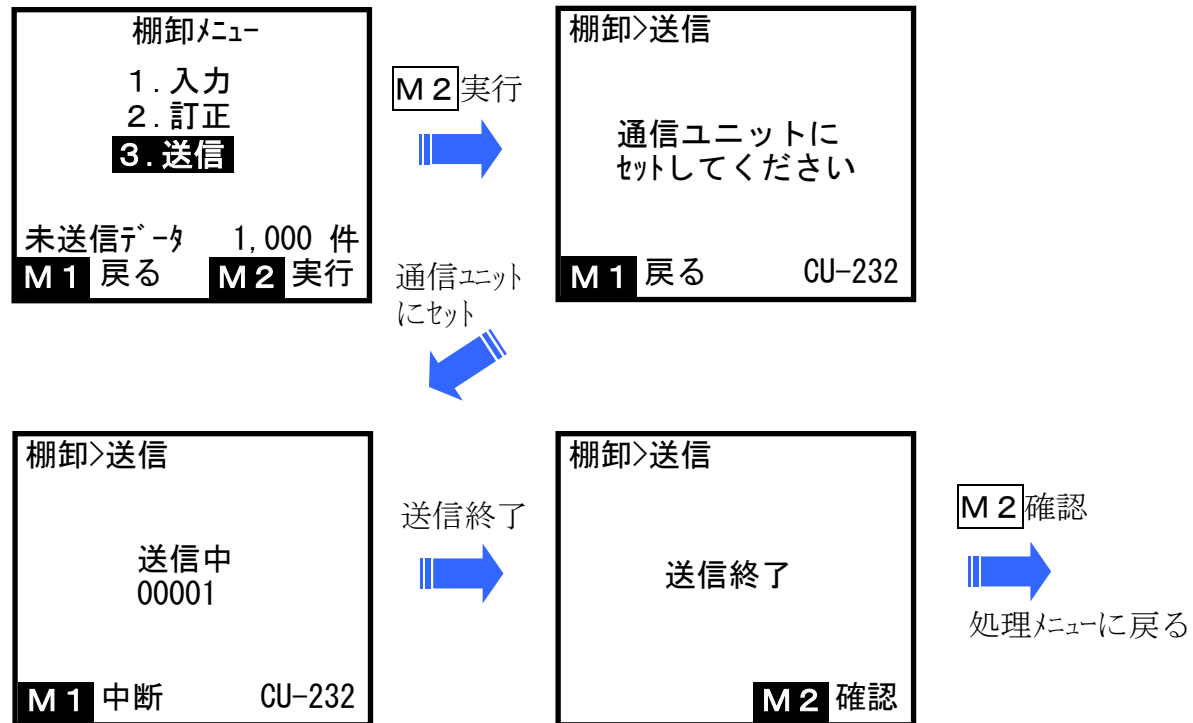
M2 確認

M2 確認

サブメニューに戻る

7-4 「アシストパック Pro BHT-900」の場合

1) BHTからPCにデータを送信



2) PCからBHTにデータを送信

サブメニュー

5. 業務設定受信
6. 業務設定送信
7. バーコード読取テスト
8. 全データ消去
9. ファイル受信
10. リモート受信

M1 戻る M2 実行

M2 実行

リモート受信

受信ファイル

M1 戻る M2 確定

M2 確定

リモート受信
通信ポート選択

1. CU-RS232 (115.2K)
2. CU-USB (460.8K)
3. USBコネクタ (460.8K)
4. Bluetooth
5. \$\$\$\$\$\$. PD4

M1 戻る M2 選択

M2 選択

実行中のプログラムである
ASTPK900. PD4は
受信しないでください。

業務設定で設定したデータファイルを受
信できますが、予め送信／削除してから
受信して、受信後に再起動してください

設定したアドイン
通信プログラム

リモート受信

通信ユニットに
セットしてください

M1 戻る CU-USB

通信ユニット
にセット

リモート受信

受信中
00001

M1 中断 CU-USB

受信終了

リモート受信

受信終了

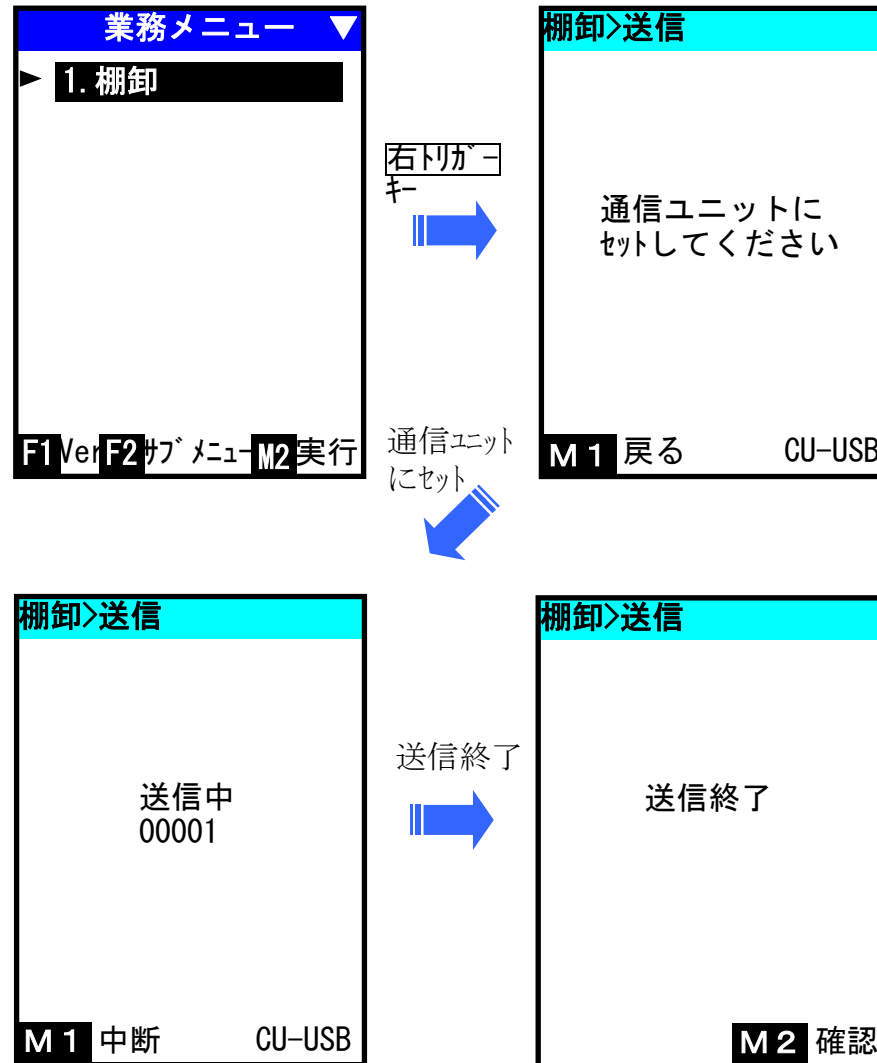
M2 確認

M2 確認

サブメニューに戻る

7-5 「アシストパック Pro BHT-1300」の場合

1) BHTからPCにデータを送信

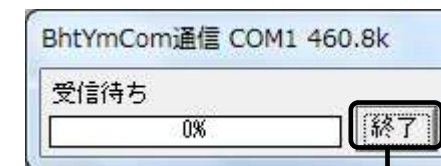


通信開始



通信終了

通信を中断します。



プログラムを終了します。

M2 確認

処理メニューに戻る

2) PCからBHTにデータを送信

サブメニュー

1. システム情報表示
2. 日付時刻設定
3. HtNo 設定
4. 業務設定更新
5. 業務設定送信
6. バーコード読取テスト
7. 全データ消去
8. ファイル受信
- 9. リモート受信**
10. ファイル管理

M1 戻る M2 実行

M2 実行



リモート受信

受信ファイル
MASTER.DAT

M1 戻る M2 確定

M2 確定



リモート受信
通信ポート選択

- 1. CU-USB 460.8K**
2. CU-コネクタ 460.8K
3. CU-RS232 115.2K
4. Bluetooth

M1 戻る M2 選択

M2 選択



実行中のプログラムである
ASTPK130.PD4は
受信しないでください。

業務設定で設定したデータファイルを受
信できますが、予め送信／削除してから
受信して、受信後に再起動してください

リモート受信

通信ユニットに
セットしてください

M1 戻る CU-USB

通信ユニット
にセット



リモート受信

受信中
00001

M1 中断 CU-USB

受信終了



リモート受信

受信終了

M2 確認

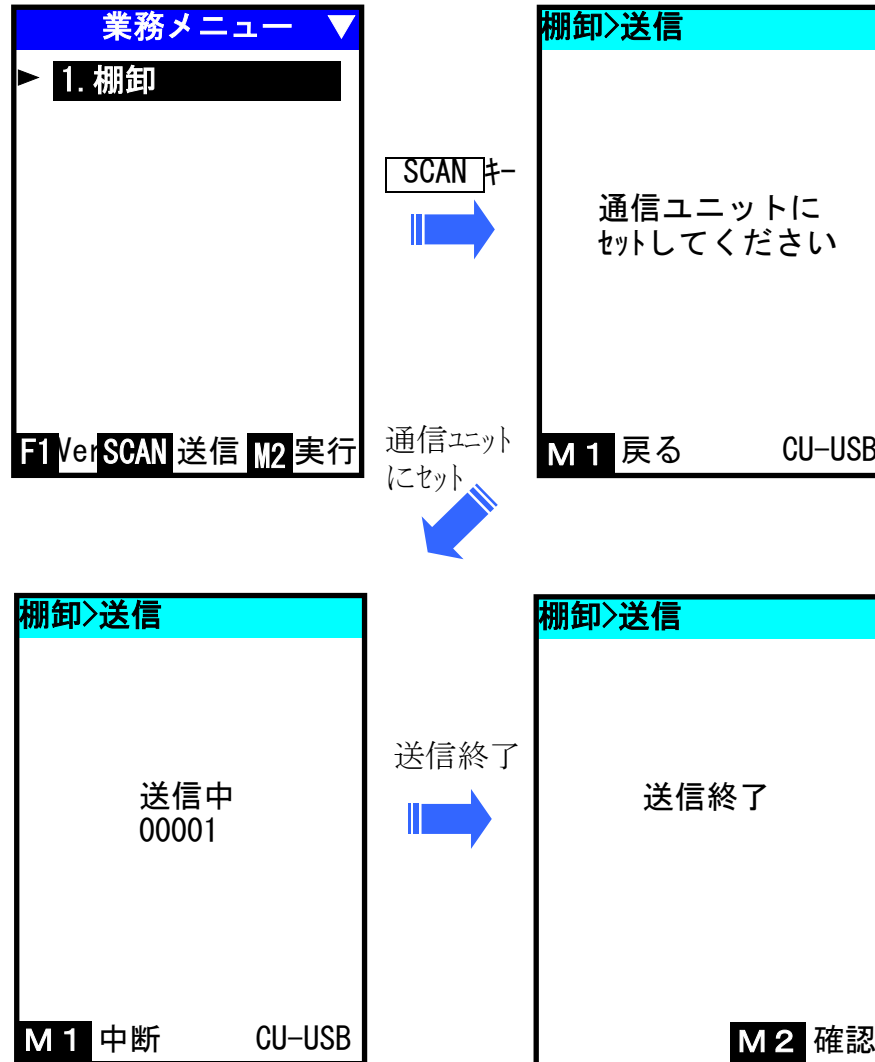
M2 確認



サブメニューに戻る

7-6 「アシストパック Pro BHT-1500」の場合

1) BHTからPCにデータを送信

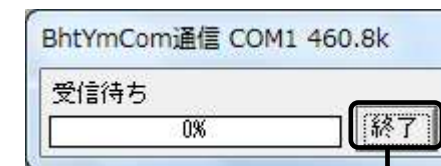


通信開始



通信終了

通信を中断します。



プログラムを終了します。

M2 確認

処理メニューに戻る

2) PCからBHTにデータを送信

サブメニュー

1. システム情報表示
2. 日付時刻設定
3. HtNo 設定
4. 業務設定更新
5. 業務設定送信
6. バーコード読取テスト
7. 全データ消去
8. ファイル受信
- 9. リモート受信**
10. ファイル管理

M1 戻る M2 実行

M2 実行



リモート受信

受信ファイル
MASTER.DAT

M1 戻る M2 確定

M2 確定



リモート受信

通信ポート選択

- 1. CU-USB 460.8K**
2. Bluetooth

M1 戻る M2 選択

M2 選択



実行中のプログラムである
ASTPK150.PD4は
受信しないでください。

業務設定で設定したデータファイルを受
信できますが、予め送信／削除してから
受信して、受信後に再起動してください

リモート受信

通信ユニットに
セットしてください

M1 戻る CU-USB

通信ユニット
にセット



リモート受信

受信中
00001

M1 中断 CU-USB

受信終了



リモート受信

受信終了

M2 確認

M2 確認



サブメニューに戻る